

## 令和7年度第3回中津川市公共交通会議 議事要旨

日 時 令和8年1月13日（火）16：00～17：00  
場 所 中津川市役所4階 大会議室  
出席者 委員19名（うち代理出席6名）、事務局4名

### ■開会

### ■会長あいさつ（可知副市長）

### ■報告

#### 報告1 下呂温泉・馬籠宿間無料シャトルバス運行の結果について（観光課）

- ・報告1について説明（観光課）

#### 【質疑・意見等】

・今回無料でシャトルバスを運行されたが、濃飛バスや北恵那交通ですでに路線バスを運行しているルートがあるため、次年度以降実施する際は、料金のあり方について検討してほしい。

#### 報告2 神坂・馬籠地区における自動運転バス実証実験の結果について（都市計画課）

- ・報告2について説明（事務局）

#### 【質疑・意見等】 なし

#### 報告3 付知地区デマンド運行の実証実験の結果について（都市計画課）

- ・報告3について説明（事務局）

#### 【質疑・意見等】 なし

#### 報告4 中津川市高等学校等バス通学補助金拡充の検討状況について（都市計画課）

- ・報告4について説明（事務局）

#### 【質疑・意見等】 なし

#### 報告5 中津川市公共交通計画改定検討会議の中間報告（都市計画課）

- ・報告5について説明（事務局）

#### 【質疑・意見等】 なし

#### 報告6 令和7年度事業（中間報告）について（都市計画課）

- ・報告6について説明（事務局）

#### 【質疑・意見等】 なし

### ■議題

#### 議題1 付知地区コミュニティバスの運行方法等の変更について

- ・議題1について説明（事務局）

【質疑・意見等】

- ・2便目は路線関係なしに好きな場所で乗り降りができるのか。

⇒基本的にはバス停での乗降をしてもらう。

- ・年会費という形でコミバスを乗り放題にしたとき、特にデマンドに関しては同じ人がずっと使い続けてしまい、他の人が使えないという事例が他市であり、評判が悪いような話を聞く。利用者の名前や登録番号がわかるような工夫がされるといい。

⇒会員証の発行をまちづくり協議会で行う予定。名前や連絡先を登録し、コミバスや施設を利用してもらう。

【採決】 承認

**議題2** 地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価について

- ・議題2について説明（事務局）

【質疑・意見等】

- ・圧倒的に目標を達成した路線と全く目標を達成できなかった路線の落差が激しい。
- ・次期計画の策定作業に入っていると思うので、目標値設定の妥当性について検討すること。
- ・高齢者が体力的に辛くなって利用者数が減少しているという分析結果が目につくが、それ以外に背景的なものはあるか。

⇒目標値の設定が従前の路線を参考にしている路線があり、目標値として適切ではないところがあるので、次年度以降の目標値の設定について考えていく必要がある。

⇒利用者数が多い路線は増やして、利用者数が少ない路線は減らしてという形で曜日を限って運行をしてきたので、その兼ね合いで大きく利用者数が減少している。火・木運行は利用者数がやはり少ないし、高齢者の利用も少なくなってきた。タクシー事業の面からみても、移動を減らしているという部分が顕著に見える部分もある。

- ・運行日を分けていることで、1週間の便数がかなり変わってしまっていることがおそらく目標値に十分反映されていないということ。一方で住まわれている方の移動が減っていることが事実なら、移動量が住まわれている方に対して十分かどうか見る必要がある。

・バス通学定期券の購入割合の評価指標について、こういった交通機関で通学しているのか調査をするといい。

・住民1人あたりの利用回数の評価指標について、観光客を含めた乗車人数を住民とするのはよろしくない計算なので、住民の方がどれだけ使っているのかを評価できるよう次期計画では検討できるといい。

【採決】 承認

**議題3** 中津川市公共交通会議設置要綱の改正及び財務規程の制定について

- ・議題3について説明（事務局）

【質疑・意見等】

- ・公共交通会議は道路運送法に基づく走り方を緩和した走り方を決めることができる場であ

り、利用促進を図り話し合いができる場でもあるので、そういった会議の場が財布を持って事業を執行していただくという発想をもとに、国交省として会議にお金を渡すというように改正された経緯がある。

- ・財布の管理が大変だと思うが、他市では協賛金を財布に入れ、マップの作成やイベントの実施に充てている例もあるので、柔軟な利用促進に向けた事業をやっていただきたい。

【採決】 承認

■議事終了

■閉会